

令和 6年度

事務事業評価表 ( 令和 5年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 6 年 4 月 1 日

事務事業名		結婚相談事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	040101000810
						単独/補助	単独	所属課	050101
政策体系	総合計画の施策名		0401 農林業の振興						農林課
	政策名		04 活力ある産業のまちづくり						課長名
	施策名		01 農林業の振興						グループ
	手段名		01 ①担い手の育成・支援						農政G
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	06	01	04	05	00	結婚相談事業		
法令根拠		桜川市農業後継者育成条例				単年度繰返し (平成17年度~)			
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
市から委嘱された相談員が農業後継者の結婚支援を行う。	相談員から申込書を受け付けて、各相談員に周知。 相談員同士の情報交換会を開催。 生活環境課、いばらきサポートセンター及びJA北つくばが開催する、ふれあいパーティを相談員へ情報提供。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
相談員から申込書を受け付けて、各相談員に周知。相談員同士の情報交換会を開催。結婚相談員の委嘱。	会議・交流会・研修会の開催	回	2.00	2.00	2.00	2.00	3.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
結婚を希望する農業後継者。	相談者数	人	35.00	31.00	31.00	31.00	31.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)
未婚の男女の成婚を支援する。	成婚支援回数	組	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
	婚姻成立件数	組	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (計画)	07年度 (目標)	08年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金 千円	0	0	0		
		県支出金 千円	0	0	0		
		地方債 千円	0	0	0		
		使用料・手数料 千円	0	0	0		
		その他 千円	0	0	0		
		一般財源 千円	19	38	127		
		事業費計 (A) 千円	19	38	127		
	正規職員従事人数 人	1.00人	1.00人	1.00人			

事業費の内訳	05年度事業費 実績 (千円)			06年度事業費 予算 (千円)		
	07 報償費	36		07 報償費	123	
	10 需用費	2		10 需用費	4	
	合計		38	合計		127

(4) 当該年度の実施内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容	08年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	相談員への連絡調整。 相談員同士の情報交換会を開催。 令和7年度より生活環境課で結婚相談事業が開始できるよう準備をする。	生活環境課で結婚相談員の活動事業開始。	生活環境課で結婚相談員の活動事業実施。

事務事業名	結婚相談事業	事務事業No.	40101000810	所属課	農林課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 農業後継者の晩婚化を防ぐため、平成20年度から農業後継者結婚相談員を委嘱。相談員を通しての成婚件数は少ないのが現状である。結婚希望者は、自主的に結婚活動をしている方もいれば、結婚相談員を頼りにしているケースもある。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 当該事業の対象者を農業後継者と限定せず、一般の方の結婚相談できるようにすべきという意見がある。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 結婚問題に取り組むことは、市の施策に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 晩婚化、少子化は大きな問題となっているので、行政が取り組む必要があため妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 相談員は、それぞれが未婚の解消に努めているため向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 相談員を必要とする方もいるため、影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 一般の結婚相談関係事業との連携または統合
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 最低限の予算で行っている。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 農業後継者となっても、相談員は限定せずに活動している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨ 相談員は、個々に活動しているが、成婚に結びつかないケースが多い。結婚希望者は、市に申し込む事に抵抗がある場合も多く、茨城県のサポートセンターへの入会も動いている。今後ともこの事業の周知を図り、登録者を増やすことにより、多くの方と出会う場を作ることが重要である。																		
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
(3) 今後の事業の方向性																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止																				
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 農業後継者と限定せず、市民の結婚の成立を支援するために相談員として活動する。		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○	×	×	低下	×	×	×
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上	○	×	×																
	低下	×	×	×																
(6) 事務事業優先度評価結果		(7)																		
成果優先度評価結果																				

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認